

講演 & ワークショップ

喪失を体験した子どもたちに寄り添う

東日本大震災などの大災害や自死、離婚、虐待など、さまざまな理由で大切な人やものを失った子どもたち。

こうした子どもたちが悲しみやさみしさを整理し、自分らしく歩むためには一人ひとりに寄り添った支援が必要です。

この講演会では、東日本大震災直後から被災地をたびたび訪れるなど、日本でのグリーフサポートにも取り組む米国のシンシア・ホワイトさんによる講演やワークショップ、大阪での実践報告などをとおして、深い悲しみを抱える子どもに、私たち大人がどのように向き合うのかを一緒に考えます。

とき

2013年 11月 27日 (水)
午後6時～8時30分

ところ

朝日新聞大阪本社 12階会議室
大阪市北区中之島2-3-18
中之島フェスティバルタワー

講師

シンシア・ホワイトさん
(米国キッズハートツーハワイ創設者・エグゼクティブディレクター)

佐藤まどかさん
(ぐりーふサポートハウス副理事長)

西田正弘さん
(子どもグリーフサポートステーション代表)

定員

50人
先着順。11月25日(月)までにお申し込みください。

参加費

1,000円 (当日会場で)

● 主催

ぐりーふサポートハウス
子どもグリーフサポートステーション
朝日新聞厚生文化事業団

Program プログラム

18:00 ~ 18:20

解説

「子どもグリーフサポートのいま～東日本大震災から～」
○ 西田正弘さん

18:20 ~ 18:40

実践報告

「喪失体験をした子どもへの大阪での実践」
○ 佐藤まどかさん

18:40 ~ 18:50

DVD

「子どものこえ」

18:50 ~ 20:30

講演
ワークショップ

「基礎からのグリーフサポートとグリーフワーク」
○ シンシア・ホワイトさん

Profile プロフィール

シンシア・ホワイトさん 米国キッズハートツーハイ創設者・エグゼクティブディレクター

- 子どものグリーフサポートで世界的に有名なダギーセンター（米国オレゴン州）のトレーニングディレクターを7年間務めるなど30年以上に渡り死別・喪失体験やトラウマ体験をした子どものケアに取り組む。日本の子どもたちのグリーフサポートについての実践、研究も行っている。

キッズハートツーハイ

死別や離婚、虐待などで親や身近な人を喪失・離別した子どもへのグリーフサポートを行うハワイ州ホノルル市を拠点とするNPO。実施する支援者養成プログラムには、各国から参加がある。

佐藤まどかさん ぐりーふサポートハウス副理事長

- 家族を自死で亡くした人へのサポートを大阪府で行う。中でも悲嘆を抱えた子どもからのあらゆる相談に尽力している。カウンセリングスペース「リヴ」代表。臨床発達心理士、社会福祉士。

西田正弘さん 子どもグリーフサポートステーション代表

- 元あしなが育英会レインボーハウスチーフディレクター。子どもグリーフサポートステーションを仙台に開設し、2012年11月から被災した子どものケアに取り組んでいる。「東日本大震災中央子ども支援センター」の外部アドバイザーでもある。

お申し込み方法

参加希望のすべての方の

①お名前（ふりがな）②郵便番号・ご住所③TEL・FAX④ご職業を明記の上、EメールかFAXでお申し込みください。

11月25日（月）までにお申し込みください。

- ・ 参加券を送付しますので、当日ご持参ください。

お申し込み・お問い合わせ

ぐりーふサポートハウス「ワークショップ」係

〒550-0003

大阪市西区京町堀1-13-23 岡崎ビル301

TEL: 06-4256-7680(月～木、午後1時から5時)

FAX: 06-6940-7036

Email: office@guri-sapo.com

